

■令和元年度グループ別防災訓練

- 南納屋町、西末広町、相生町グループ 3月1日(日) 避難訓練と住友電装の防災体制説明と備品見学
- 尾上町グループ 新型コロナウイルス感染拡大防止により中止
- 稲葉町、北納屋町、浜町グループ 2月16日(日) 危機管理室出前講座(災害から命を守るために)
- 高砂町グループ 新型コロナウイルス感染拡大防止により中止
- 中納屋町、蔵町グループ 新型コロナウイルス感染拡大防止により中止
- 千歳町グループ 新型コロナウイルス感染拡大防止により中止

■コスモ石油(株)四日市製油所 定期整備説明会

令和元年12月4日(火)に説明会がありました。令和2年は例年通り大規模な定期整備が行われるとのこと。港地区からは業者に対して、地域での自動車運転に関して注意をお願いしました。

■パイプライン管理状況報告会

令和元年度の報告会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面での報告となりました。なお、この報告会は例年、導管を敷設している企業3社(コスモ石油(株)四日市製油所、東ソー(株)四日市事業所、三菱ケミカル(株)三重事業所)とパイプライン敷設自治会(稲葉町、高砂町、北納屋町、尾上町、千歳町、浜町一区)が出席し、連合自治会長、連合自治会顧問と相談役である中部地区市民センター館長立ち合いのもと、1年間の導管の点検報告を受け毎年開催されています。

■令和2年度の「港地区自主防災組織連絡協議会」総会

- 自治会・企業代表者会議 本町プラザ 5月15日(金)午後1時30分
- 港地区自主防災組織連絡協議会 本町プラザ 6月7日(日)午前9時30分

《防災委員》(敬称略・五十音順 自治会長、自主防災隊長、作業部会)

家城 宏光	加藤 亘	清原 茂	近藤 誠	清水 泰次	瀬川 宏	堤 利臣
寺井 勝	豊田 成彦	橋本 幸生	羽多野 隆	春木 秀茂	平尾 隆俊	藤井 俊之
藤村 まさみ	町田 光夫	松田 裕文	松野 郁雄	松本 博光	三浦 恭久	水谷 哲
山崎 佳美	山本 慶太郎	横井 輝重	吉田 正紀	吉田 泰宣		

《防災連携企業》(五十音順)

石井燃商(株)	伊勢湾倉庫(株)	(株)エネックス	おのえ作業所	風薫会
協同海運(株)	九鬼産業(株)	九鬼肥料工業(株)	コスモ石油(株)	佐藤クリニック
三エスゴム(株)	JSR(株)	昭和電工ガスプロダクツ(株)		住友電装(株)
第一工業製薬(株)	大成建設(株)	大宗建設(株)	太平洋セメント(株)	高砂建設(株)
中部海運(株)	中部電力(株)販売カンパニー	エネルギー事業部	中日本建設(株)	東ソー(株)
東邦ガス(株)				
東陽興業(株)	日本板硝子(株)	日本海事検定協会	日本カニゼン(株)	日本貨物鉄道(株)
日本通運(株)	日本トランスシティ(株)	(株)ニヤクコーポレーション		林興業(株)
三菱ケミカル(株)	四日市海運(株)	四日市電機(株)	四日市郵便局	

港地区の世帯数・人口・高齢化率(平成31年4月1日現在) 四日市市 統計情報 年齢別人口(町別・階層別)より
938世帯・1,629人(男809人、女820人)、41%(男34%、女49%)



港 防災だより

No.29

2020年(令和2年)3月31日

発行人/四日市市港地区自主防災組織連絡協議会 会長 家城 宏光

『港 防災だより』について

港地区には、防災を考えるうえで多種多様な問題が存在しております。(例:埋立地(地震に弱い)、海岸線(津波に弱い)、臨海コンビナーに近接、住民の高齢化)これらの問題に対処して行く為に重要なことは、住民/企業/行政の相互理解とそれに基づく活動であります。そのためには、日頃、この三者が防災に対する情報を共有し、活動することが重要であり、その一助としてこの防災だよりを発行しております。

災害時の避難情報が変わりました

災害時の避難情報が変わりました

平成31年3月に、国(内閣府)の「避難勧告等に関するガイドライン」が改定されたことに伴い、本市においても災害時の避難情報が変わりました。

市では、災害発生の恐れがある場合、「四日市市安全安心防災メール」や「防災行政無線」「エリアメール」など、さまざまな方法で市民の皆さんに避難情報を提供します。

最新の情報に注意し、地域の皆さんで声をかけあって、安全かつ確実に避難しましょう。



警戒レベル	提供する情報	市民のみなさんがとるべき行動
警戒レベル5	災害発生情報	すでに災害が発生している状況であり、命を守るための最善の行動をとってください。
警戒レベル4	避難勧告 避難指示(緊急)	災害が発生するおそれが高まって高い状況になっています。最寄の指定避難所等への避難を開始してください。
警戒レベル3	避難準備・ 高齢者等避難開始	高齢者等、避難に時間がかかる方は、避難を開始してください。その他の人も、いつでも避難できるよう準備をしてください。
警戒レベル2	注意報	避難に備え、ハザードマップ等により、災害リスク・避難場所や避難経路・避難のタイミング等を再確認してください。
警戒レベル1	警報級の可能性	最新の防災気象情報に注意し、災害への心構えをしましょう。

四日市市では、防災情報などを携帯電話やパソコンにメールでお届けする無料の「安全安心防災メール」の登録を受付けています。

まだ登録されていない方は、ぜひご登録ください。

【携帯電話・スマートフォンから登録する場合】

<登録方法1>

カメラ機能付き携帯電話で、右のQRコードを読み取り、サイトに接続後、手順に従って登録をしてください。

<登録方法2>

下記メールアドレスに空メールを送り、返信されたメールに記載されている手順に従って登録をしてください。

t-yokkaichi-city@sg-m.jp

注意)登録料は無料です。ただし、メールの受信にかかる通信料は利用者のご負担となります。



『京都府京丹波町瑞穂地区との交流会』

令和元年11月29日(金)
13:00～ 社協会議室

《なやプラザ 社協会議室;港地区取組み説明・質疑応答・意見交換》

【京丹波町参加者】区長20名、事務局(京丹波町役場職員)3名
【港地区 参加者】家城連合・自主防災会長、加藤防災副会長、藤村連合副会長、齋藤地域MGR

令和元年8月に、京都府京丹波町瑞穂地区から「防災交流会」の受入れ依頼があり、依頼内容の確認を伺ったところ、港地区の【防災と福祉のまちづくり】の取組みについて等とのことから、10月に返答し受入れを承諾しました。受入れにあたり、内容の検討及びプレゼン資料の再編集を行って準備し、11月29日に交流会を行いました。

構成は屋内(社協会議室)と屋外(旧四日市港周辺)の二部構成で、内容は以下の通りです。

《自己紹介・あいさつ》

家城会長のあいさつと港地区メンバー自己紹介、京丹波町区長会長のあいさつと京丹波町役場職員の自己紹介で始まりました。

《港地区自主防災活動についての取組み》

パワーポイントによる説明(全員に資料配布)

加藤副会長が全体説明をして、各内容では家城会長、藤村副会長、齋藤地域MGRが詳細を説明。「災害時支え合いカード」については、三重テレビの映像を見る。(糸内氏のインタビュー映像等)

《質疑応答・その他意見等》

「組織体制をはじめに作ったときに、リーダーシップを取った人がいたか？行政からの指示か？」等の質問が多数ありました。又、皆さんが個々にメモを取り真剣な取組みが伝わってきました。



【自分達の町は自分達で守る】防災意識を継続し、結束力を高めて再認識しましょう！

『京都府京丹波町瑞穂地区との交流会』

令和元年11月29日(金)
15:30～ 高砂町・尾上町

《旧四日市港・プロムナード;潮吹き防波堤見学・防潮扉 開閉体験》

なやプラザでの意見交換も終わり、後半は高砂町・尾上町へ移動し見学をして頂きました。又、バスの車窓からでしたが、コスモ石油(株)様の製油所も案内をして見学して頂くことができました。

《旧四日市港・潮吹き防波堤レプリカ・水門・潮吹き防波堤の見学;高砂町》



《プロムナード散策;移動》



《防潮扉 見学・開閉体験;尾上町》



《京丹波町瑞穂地区区長会長 高畑様からのお礼状;一部抜粋》

この度は、視察研修に際しご多忙中にもかかわらず貴地区の活動内容についてご説明頂き誠にありがとうございました。

お陰をもちまして、参加区長からは「大変関心のある内容で有意義な研修であった・勉強になった」等の多くの声を頂戴し、滞りなく視察研修を終えることができましたことに厚くお礼申し上げます。この研修で学ばせて頂いたことを生かし、今後の区長活動を推進して参りたいと存じます。

最後になりましたが、港地区自主防災組織連絡協議会様の益々のご活躍と発展をお祈り申し上げますと共に、略儀ながら、まずは書中をもちまして視察研修のお礼とさせていただきます。

敬具